健康ウォッチング

東陽病院 副院長 伊藤 文憲

膵臓病(2)

横芝町の皆さん今日は。前回は急性膵炎から慢性膵炎の話でした。慢性膵炎が進行すると膵臓に悪性腫瘍が発生することがあります。膵臓では、肝臓などのようにウイルスが原因とは考えられてはいません。

慢性膵炎では膵臓全体に変化が見られますが、一部の組織が異常に増殖する膵臓癌は最近増加の傾向にあります。危険因子は明確ではありませんが、食生活の欧米化に伴う脂肪や肉食の増加が原因かと考えられています。アルコールの多飲も危険因子の一つとされています。

膵臓癌には膵外分泌腺の上皮から発生する進行の早い通常の膵臓癌と内分泌腺由来の進行の遅い癌があります。前者の通常の膵臓癌では2㎝を超えた場合にはほとんど膵臓の外に癌細胞が広がっており、治癒は困難です。後者は徐々に進行する為、診断時に2㎝以上で発見されても癌細胞が膵臓の中に留まるため外科的な根治手術が可能です。

これからは通常の膵臓癌についてお話します。

膵臓癌には癌の出来る部位により臨床症状が異なります。膵臓は勾玉のような形をしており、頭部とそれ以外の体尾部に分けられます。頭部には肝臓から胆管が十二指腸に向かって通過するために腫瘍が小さい時期に黄疸を起こして発見されることがあります。この場合には外科的な手術により根治切除が可能なことがあります。胆管に触れない位置に発生した場合には発見は遅れます。体尾部に発生する膵臓癌は、臨床症状に乏しく、背部痛などにより受診した場合には既に進行していることがほとんどです。

膵臓癌の早期発見はなかなか困難です。前回に述べたように「沈黙の臓器」といわれ症状が乏しく、他の胃腸疾患とみなされて対症療法を受けることが多く、進行した状態で発見される例が大半です。早期発見のためには、上腹部の不快感・違和感に対して積極的に超音波やCT検査を受けて膵臓をチェックし、異常が発見されたら精密検査を受けることです。正確な診断には内視鏡を使って膵管を造影するERCPが必要です。

膵臓癌は2㎝以下で発見され、転移がない場合には、膵頭十二指腸切除術といって膵臓の一部と十二指腸、胃の一部、胆嚢、リンパ節を取る大手術により癌を完全に切除することも可能です。しかし、既に周辺臓器に転移している場合には、放射線照射療法や抗癌剤の投与が行われますがその成績は悲観的です。膵臓癌で異常値を示す血液検査法の開発や、健康診断に腹部超音波検査を組み入れるなどの方法で早期発見につとめているのが現状です。

文芸

俳句

古希待たず友は逝きたり年の暮れ
気がつけば今年もひそと石蕗の花　浅野　茂子

北風や番雀のふくらみて
大枯野ボール追ふ子の声ひびく　池田　逸子

屋敷森彩づき初めし今朝の冬
水音背に深山の寺の暮早し　伊藤　敬子

小春日に誘はれ天城越へにけり
冠雪の富士正面に干大根　岡田　雅美

あちこちに揺れて漂ふ浮寝鳥
上総野の寒月を往く機影かな　向後　寛

小春日のちんちん電車岬の町
白鳥の一声高しあとは風　鈴木　繁子

思い出す秩父夜祭り提灯ゆれて
農業祭無料の大根飛ぶように　若梅あやめ

霜枯れし山なみはるか善光寺
枯葉散るたそがれのみち道祖神　渡辺　栄子

窓開けてそっと逃がしぬ冬の蝿
張り替えし障子に朝の日がとどく

選者　鈴木　草庵

短歌

「暖かいよ」ひと言嫁に礼を言ふ
張り替えくれし障子明るし　吉岡　信子

孫を中に家族と夕餉囲みゐつ
この雰囲気の中に浸りて　鈴木　やす

惚け予防と娘に贈られしパソコンに
挑戦しをりけふも一時　真家ふじ子

冬晴の池に集へる真鴨らは
光の水脈を引きつつ泳ぐ　西山満里子

山染めて昇る初日に抱かれて
我が里しづかに明けてゆくなり　萩原　信一

北風に立ち向かふがに山茶花の
花一輪が垣に咲きゐつ　永藤　滋

町中の喧噪よそに集ひたる
降誕祭の浄らなる夜　田崎　尚美

秋日射しあまねき縁に並びたる
大根の白まぶしかりけり　宇井　ちい

小さきも大きも混ざり届きたり
蜜柑は友の山のものなり　押尾　輝子

ぬいぐるみの猫に幼は語りつつ
薬の出来るを待ちてゐるなり　池田　春江

手の届く枝にあまたの柿の実が
挽ぐ人もなく腐りゆくなり　八角　三枝

ろくろ蹴る足のリズムと手の技の
夫合ひたるか土競り上ぐる　佐瀬　初音

フライパンに割りたる卵より黄味二つ
いできぬ朝の小さき出来ごと

選者　斎藤つね子